



平成18年10月31日

各位

三井不動産株式会社

平成19年3月期中間決算のお知らせ

三井不動産株式会社は、本日、平成19年3月期中間決算を確定しましたのでお知らせいたします。なお、詳細は決算短信をご参照ください。

◆ 連結業績概要

(単位：百万円)

	当中間期 (平成18.4.1~9.30)	前中間期 (平成17.4.1~9.30)	増減(率)		通期予想
売上高	511,350	492,982	18,368	(3.7%)	1,220,000
営業利益	64,265	46,037	18,228	(39.6%)	145,000
経常利益	54,267	36,832	17,434	(47.3%)	125,000
中間(当期) 純利益	39,505	23,246	16,259	(69.9%)	63,000

- 当中間期の売上高は、対前中間期比で3.7%増収し、5,113億円。また、営業利益は642億円となり、同比182億円(39.6%)の増益。
- 前期竣工した「日本橋三井タワー」、「銀座三井ビルディング」(いずれも東京都中央区)の収益寄与やオフィス賃料の上昇などにより、「賃貸」セグメントが対前中間期比で108億円増収、44億円増益。首都圏オフィスビル(単体)の当中間期末空室率は1.0%となり、引き続き低水準で推移。(H18.6末0.9%、H18.3末1.0%)
- マンション分譲は好調な販売状況が継続し、当期計上予定戸数に対する契約進捗率は約90%。当中間期末のマンション完成在庫も100戸に減少。(H18.3末235戸)また、投資家向け分譲も計画通り進捗し、「分譲」セグメントは対前中間期比で93億円増益。
- 「完成工事」「仲介・販売受託・コンサルティング」「管理受託」および「施設営業」の各セグメントについても、対前中間期比で増収増益。
- 営業利益の増益を受け、経常利益、中間純利益も前中間期に比べ、それぞれ174億円(47.3%)、162億円(69.9%)の増益。

◆ 連結業績予想

当中間期の業績は、期初(平成18年4月28日)に公表いたしました通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の見通しに対し順調に推移しており、当該予想数値の変更はありません。

以上

<添付資料>

1. 平成 19 年 3 月期中間決算短信（連結・単体）
2. 平成 19 年 3 月期中間決算短信 補足説明資料

本日この資料は以下の記者クラブに配布しています。

○兜クラブ ○国土交通記者会 ○国土交通省建設専門紙記者会

お問合せ先 三井不動産株式会社 広報部 03（3246）3155
--

注意事項

本資料および添付資料記載の将来の業績の見通しに関する事項につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。